

施設入所の仲間と余暇外出してカラオケ交流

岡山県本部 森脇良明

11月28日（月）真田、吉田、菅野、森脇の4名は入所中の瀬尾美枝子さんと一緒にカラオケに行くため、笠岡市内のときわ学園を訪ねました。約束時刻の14時より少し早く訪問し、事務所で外出の手続きをしていると瀬尾さんが玄関に降りて来られました。

5名は2台の車に乗り合わせ、一路福山市大門のカラオケ店へ向かいました。道中、瀬尾さんは初対面の仲間（吉田・菅野さん）が気になるようで「一緒に行くん？」と少し緊張ぎみな表情で聞いてくる。真田さんが「美枝ちゃん新しいお友達に会いたいと言っとたろう。すぐ仲良くなるよ。」と言うと「いいけど・・・」とやはり不安そう。

予定していた大門のカラオケ店は、平日にも関わらず、満室で1時間30分待ちのため、系列店の別のお店に変更することにしました。地図ナビの登録誤りもあって、少し到着がおくれましたが、予約していたのですぐカラオケ開始することができました。

カラオケ大好きな瀬尾さんは、歌いだすと両手を大きく上げ、時々手をくるくる回すしぐさをしながら、楽しそうに歌います。皆で笑いながら「たのしい？」と聞くと、「うん楽しい」と答えてくれる。注文した飲み物を飲みながら、「踊るポンポコリン」「幸せなら手をたたこう」「わたしの青い鳥」「先生」「北の宿から」「秋桜」「上を向いて歩こう」などを歌いながら和気あいあいと予定時間まで楽しいひと時を過ごしました。

「岡山まで帰るん？」別れを惜しみながら、吉田・菅野さんと別れると、瀬尾さんは、「菅野さん、吉田さん帰った。また行こうと言うた。」と、ときわ学園まで帰る道々繰り返し言っていました。楽しかったのだろうと思います。

